

# 常盤北小学校

## スクールサポートネットワーク通信

第2号 令和5年9月7日 さいたま市立常盤北小学校

### ～スクールサポートネットワークとは～

さいたま市では、学校を「核」として 保護者や市民、地域の様々な団体、企業等が協働し、児童・生徒が地域の中で健やかに育まれる環境を創って行くため「スクールサポートネットワーク(SSN)」事業を推進しています。

常盤北小学校のSSN 事業には、PTA や自治会、青少年育成常盤地区会、防犯ボランティア、子どもひなん所110番の家、社会福祉協議会等、様々な分野の皆様のご協力をいただいております。主な活動としては、「あいさつ運動の推進」「まち探検のご協力」「車椅子・高齢者体験等の学習支援活動」「児童の安全・安心を確保する活動」「放課後児童の受け入れ」「校庭・体育館の環境整備」等、幅広く行っています。SSN 事業は、様々な分野の多くの方々が協働し、子どもたちの健全育成にご支援・ご協力をいただいております。

### ～学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が開催されました～



令和5年6月27日（火）、常盤北小学校において今年度第1回の「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」を開催しました。これは、地域の方々や保護者、SSN 等の代表者が学校運営に直接参画し、協働して子どもたちの健やかな成長を支えていく取組です。常盤北小学校・常盤小学校・常盤中学校 3校合同の全体会では「学校運営に関する基本的な方針」が承認され、学校と地域が抱える様々な課題を解決して行くための「熟議」を行いました。「熟議」にお

いて、学校・家庭・地域が一体となり「コミュニケーション力」を身につけさせる第一歩として、「あいさつができる児童・生徒」の育成に取り組んで行くことが決まりました。また、「何故 あいさつが大切なのか、あいさつの意義を考え直してみよう」という提案も出ました。

### ～地域のご協力で2年生が「町たんけん」を行いました～

令和5年6月28日（水）、2年生が10グループに分かれて学区内の企業、商店、公共施設等を訪問しました。「すこやかプラザ」では会話するロボットに興味深々、「AGS(株)」では未公開の場所を案内いただきワクワク、「日食チェーン北浦和店」ではレジ打ち等を体験しました。また、「志水畳店」では畳を用いたおしゃれなコースターづくりを楽しみ、「常盤北保育園」では園児と触れ合い、自らの成長を感じたようです。なお、「たつみや」、「ファミリーマート与野西店」、「ルネサンス浦和」、「和光建設(株)」、「常盤中学校」にも訪問させていただき、様々な仕事の様子を教えていただく中で、「地域」がより身近になったようです。

ご協力・ご支援をいただきました皆様、ありがとうございました。

## ～酷暑を吹き飛ばす花火大会～

令和5年7月28日（金）常盤北小学校において、青少年育成常盤地区会、常盤北小学校PTA、常盤小学校PTAによる「親子花火大会」が開催されました。連日の酷暑も夕刻にはやや収まり、八つの子ども会から多くの親子が参加しました。

開催にあたっては、青少年育成常盤地区会長 志水様をはじめ、来賓の方々のあいさつがありました。その後、常盤北小学校金管バンドが演奏会を開催し、花火大会に華を添えました。演奏会の後は、いよ



いよ花火を楽しみました。手持ち花火の一瞬のきらめき、飛び散る閃光に歓声を上げていました。また、仕掛け花火の吹き上がるオレンジとコバルトブルーの光の噴水、満月も見守る夜空にはじける打ち上げ花火の音と綺羅星たちを親子で楽しみました。最後は、光の帯が連続して駆け降りる恒例の「ナイアガラ」で夏の夕べを満喫しました。

## 〔お知らせ〕

第1回「スクールサポートネットワーク(SSN)」を、令和5年10月30日(月)午前10時から開催いたします。

第2回「スクールサポートネットワーク(SSN)」を、令和6年(2024年)1月15日(月)午後1時から開催いたします。当日は、防犯ボランティア・リーダー小川 恵大氏の講話も予定しております。万障繰り合わせの上 ご参加をお願い致します。

※ SSNにご参画いただく団体、役員等の皆様には別途ご案内を送付いたします。

### あいさつの話

「おはようございます」は「お早くからご苦労様でございます」の略で、早くから働く人をねぎらう言葉です。「こんにちは」は「今日のご機嫌いかがですか」の略で、相手の体調や心境を気づかう言葉です。「さようなら」は「左様ならば」の略で、「それならば、私はこれで失礼いたします」の略で、丁寧な別れのあいさつです。「ありがとう」は「有難い(有ることが難しい)」の略で、めったにないことに感謝する言葉です。

あいさつを交わすことは、相手の存在を認めて、時々感謝、気づかいの言葉を掛け合い暮らしを円滑にする行為といえそうです。

さて、あいさつは短い言葉ですが、コミュニケーションの第一歩といえましょう。さらにあいさつを交わすことで街の防犯効果を高めたり、地域の絆を結ぶことで災害時等の緊急事態に備えるためにも大切な行いといわれます。

アイヌ語のあいさつの言葉「i ram kara te」(イランカラプテ)は「あなたの心にそっと触れさせてください」と紹介(アイヌ民族文化財団)されていますが、あいさつの役割、あいさつをする意義を考える上で興味深い解釈といえましょう。(学校地域連携コーディネーター)

